

令和 6 年度  
グループホーム 鶴翠  
事業報告書



(1) 基本方針

職員の専門性を発揮し、個別サービスを行うことで、ご利用者とご家族へ安心と安定を提供します。

(運営方針)

- ① ご利用者を受け入れる前からの情報収集への取り組み方を改善し、バックグラウンドを理解した上での介護サービスの提供を開始します。その上で、入居当初のリロケーションダメージを抑えた支援を目指します。
- ② 地域住民、地域施設、医療調剤機関、保険者との連携を図り、地域包括システムを上手く活用することで、ご利用者の健康と安全を守ります。また災害や感染に備え、緊急時にも持続性のある運営を目指します。
- ③ 行事の中に運動、作業、回想、音楽といった軸になる各種療法＋生活リハビリ（洗濯たたみ、食事準備、身の回りの清掃）を職員側でしっかりと意識して準備し、ご利用者と一緒に行う頻度を上げて行くことで達成感と役割感の創出を図ります。
- ④ 様々な研修を通し、介護における専門的な知識はもちろん、社会人としての素直さと尊厳の大切さを理解できる誠実な人間形成を目指します。

(重点目標)

- ① ご利用者の日々の状態についての情報共有は、現場と管理者間で行えておりますが、ご家族との間で上手く出来ておらず、介護保険の更新申請などの時に初めて状態が重くなっていることに気付かれるご家族が多かったように感じます。職員とご家族の情報共有のツールとして日常生活報告書がありますが、その内容は行事の事が中心になっており、もう少し伝えるべき内容の改善の必要性があり、ADLの変化や主治医とのやりとり、栄養状態や口腔内の状態についての状況を丁寧に報告していくことにします。ご利用者の生活歴や既往歴を踏まえた健康観察を行い、ご家族へ説明する力を養っていくよう努めます
- ② 令和5年度からご家族と話し合いながら亀天会診療所への主治医移行を進めて来て、現在14名は亀天会診療所が主治医となり対応しております。ご利用者の異常を早期に見極めて、亀天会診療所に繋げて行き、ご利用者の症状の早期緩和と回復に努めています。また、ご家族が付き添えない状況においてもいつでも往診を受けられる安心感を提供できていると感じています。  
そして、緊急時の対応については、業務継続計画訓練などを通してご利用者

の安全確保及び災害時でも最低限のサービス継続を行っていくことの必要性について職員全員で学習し、緊急時の備蓄についても被災時に必要な物資についてリストに整理し、古い物と新しい物の入れ替えを継続して行っております。ただ、地域との関りは薄く、合同の会議や防災訓練などの必要性も高まっておりますので、今後は地域の方々と一緒に防災訓練に取り組んでいきたいと思っております。

- ③ 感染症予防対策をしながら、花見ドライブや庭先での行事など、なるべく外へ出向く行事を増やすことを意識して取り組んできました。感染症予防対策委員会を定期的に開催しながら、流行状況を確認してご利用者が楽しめる行事を考案しております。利用者と職員でローソンへおやつを買いに行く等、地域との関りを増やしながら、社会との接点を増やしていく取り組みを行っております。
- ④ 令和6年度は南予での大きな地震、大規模停電、山火事などの災害がありました。特にBCPの机上訓練では、品の選定、集団で河北中学校へ避難することをイメージしながら、準備物や利用者についての必要な情報、目標到達地点までの職員の配置、見守りしながらの移動方法を話し合いました。
- そして、認知症介護施設に携わる職員として、尊厳を大切にされたケアに取り組んでいます。コンプライアンス、ハラスメント、緊急時の対応など、幅広い知識を身に付けていくことと、個人の資格取得のための日々の勉強の大切さについては、毎回の職員会議で意識を共有しております。毎年度一人ずつ介護福祉士の資格取得が出来ましたので、今後も能力向上に努めてまいります。

## (2) ご利用者に対するサービス

### ● 食事介助

認知症対応の施設ですので、ご利用者全員が好みの物や食事形態についての要望をはっきりと職員に伝えるのは困難です。職員側はそういったご利用者の要望を表情やしぐさから読み取る必要が有ります。ご家族からの情報提供をもとにご利用者にとって最適な食事を提供出来るように意識して取り組みました。食べ残しが多いメニューについては給食会議で伝え、食べたい物等の要望も合わせて提案していきました。重度化されたご利用者に対しては食事介助や食べている時の姿勢、誤嚥予防への対応等出来る限りのリスク回避を行いながら安全に食事が出来るように取り組みました。

### ● 入浴介助

1階に特殊浴槽、2階は普通浴槽ですのでご利用者の身体の状況によって使い分けをしております。入浴支援で気を付けることの1つに皮膚疾患の観察があります。更衣介助時に皮膚トラブルが無いかどうかについて、日本人職員、技能実習生が気を付けて観察しております。感染症が有る方の入浴の順番についても注意しています。また、尊厳に配慮しての支援については勉強会の題材に取り入れる

ことで、ご利用者が安全、安楽に入浴できるよう支援しております。

- 排泄の介助

適切なオムツの使用については、ご利用者個々のサイズ感や吸収量に合わせて選定を行っております。職員の見守りの仕方についても、排泄している姿を見られることの不快感を勉強会で指導し、プライバシーに配慮した支援を意識しながら取り組んでおります。高齢者は慢性的な便秘に陥りやすいのですが、診療所とも連携しながら個々の処方についても細かく調整しながら対応しております。

- 更衣等の介助

季節ごとの衣替えについて、ご家族に協力して頂きながら取り組みました。認知症の影響もあり、上手く服の選定が出来ないご利用者に関しては、職員側からご家族へ衣類のサイズ感や好み、形状等の報告をさせて頂いて、適切な物を持参して頂くようにしております。衣服選びも認知症ケアにとって重要な支援の1つだということを職員も意識して取り組んでおります。

- 健康管理

新型コロナウイルスやインフルエンザに関して、正月期間に2階のユニットでインフルエンザの罹患がありました。亀天会診療所と早期に連携を取りながら重症化を防ぎ、約10日間で収束することが出来ました。基本の感染対策として、毎日苑内のアルコール消毒、定時の換気を継続しております。毎日のバイタルチェックを行いながら、身体の変化や不安な事柄は即時対応するよう努めました。ご利用者の健康診断も亀天会診療所で対応して頂くようになり、スムーズで負担の少ない健康管理が出来るようになっていきます。

- 相談援助

感染症予防対策として面会制限についてはご家族に丁寧に説明させて頂き、県のホームページにて感染状況を確認しながら対応していきました。感染症がまん延している時にはご家族のみで薬を持参して頂くなどの協力を仰ぐなど、出来る限りの対策を講じております。ご利用者の入退院については、各医療機関の相談員と感染状況などの連絡を密にし、感染症が発生している時の退院日の設定を避けながら対応していきました。ご家族や他施設からの問い合わせにもしっかりと丁寧に答え大きなトラブルもなく適切な対応が出来ました。

- 防火・防災対策

令和6年度は5/20に風水害避難訓練、11/26に地震避難訓練を行っております。風水害訓練では大明神川が氾濫したことを想定しての垂直避難を行っております。赤の避難通報装置が混線したような雑音があり、設備点検にて修理をして頂きました。冬の地震訓練では西条西消防署より3名の隊員に来て頂き、避難の模様を指導して頂きました。初期消火訓練では6名の技能実習生が実際に消火器を使用しての訓練を行っております。令和7年度も訓練を継続し、BCPマニュアルの更新や訓練、備蓄品の確認を行い災害に備えてまいります。

- 職員研修

年度計画の議題をもとに、毎月の担当者を決めて内部研修を実施しております。職員が自ら考えて行動できるように、グループワークを中心に取り組みました。特に認知症介護で重要な尊厳の保持については毎月の職員会で繰り返し復唱し、丁寧な言葉遣いと選択性のあるケアを職員全員が意識して動いております。歯科医師による口腔ケア研修への参加、技能実習生の認知症介護基礎研修、介護福祉士実務研修等の外部研修にも参加し、資格取得へのチャレンジや働くために必要な研修の受講など学びの姿勢を忘れずに取り組んでおります。

- ボランティアの受け入れ、地域行事参加状況

新型コロナウイルス以外でもインフルエンザやノロウイルスなどの発生があり、積極的に外部との関わりを持つことは出来ませんでした。花見ドライブやケアハウスとの合同行事はありましたが、苑内行事がほとんどでした。令和7年度は近隣施設との交流や楽しみ作りの一環として地域交流が行えるように努めて参ります。

- 行事、クラブ活動

体を動かすことが得意なご利用者や、歌う事が得意な人、創作することが得意な人がおり、個別性を大切にしながら取り組みました。グルーホームでは認知症の影響で、ご本人がやりたいと思っていたことがその時で突然変化することがあります。そういった時に臨機対応に対応出来るように、選択肢を増やす取り組みを行いました。1対1での対話をする時間や傾聴受容を大切にし、ご本人の役割や達成感を味わえるような行事を考えて参ります。

### (3) その他の重要な取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

令和7年1月にインフルエンザでご利用者と職員の感染がありました。亀天会診療所と早期に連携し落ち着いて対応していきました。ご家族への面会制限は予約制で対応し、その都度感染状況についての説明を丁寧に行い、制限の程度を調整していきました。愛媛県のホームページを確認しながら、感染症対策委員会を定期的で開催し、安全な運営を意識して取り組むことが出来ています。

- ② ハラスメント対策

各種ハラスメントについては内部研修で学習し、職員間での意識の向上に努めました。お互いの立場に立って、自分がされて嫌なことをしないように、日々の言葉遣い、不必要な接触、性別での役割や業務の偏り、優位、地位を利用しての対応などについて意識して取り組んできました。カスタマーハラスメントについては玄関に指針を掲示して対策をしております。職員、利用者、ご家族が円滑に相談や支援が出来るように継続して取り組んで参ります。

### ③ 地域における公益的な活動

地域施設や住民と関わる機会は少なく、外部との交流が積極的に出来ませんでした。今後は近隣施設の交流行事、地域との防災訓練などを行い、災害に備えて参ります。地域や学生ボランティアの受け入れなども行い、地域福祉の拠点としての活動を行って参ります。

### ④ 介護職員等処遇改善加算への取り組み

職場環境の改善への取り組みとして、苑内の物の置き場所や必要な物、不必要な物の仕分けを行い、大掃除の時間を作り整理整頓を行っております。防災の備蓄品やレクリエーションで使用する物品などの収納を身近に配置したり、リスト化したりすることで何度も数えたり、探したりする業務上の手間を省いていきました。3カ月に1度生産性向上委員会を開催し整理整頓の状況を話し合っております。又、各種休暇の相談や職員との個別の面会時間を確保し、現場の職員が安心して働ける環境作りを行っております。



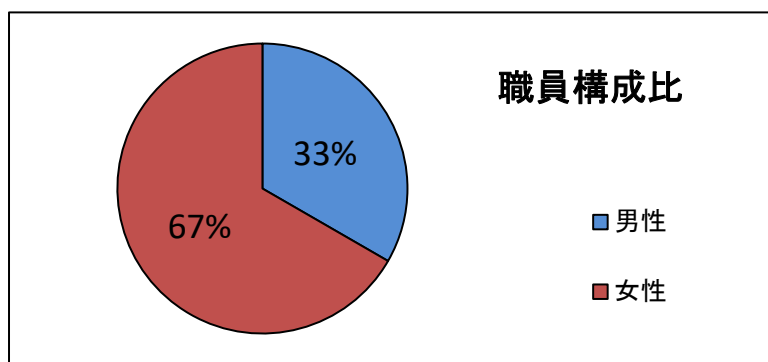


## 1. 事業所

### ① 概要

事業所名	グループホーム鶴翠		
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所住所	愛媛県西条市大野284番地2		
管理者職名	管理者 芝 博文		
職員数	男性	女性	総数
	6	12	18

(令和7年3月31日現在)



### ②職員紹介

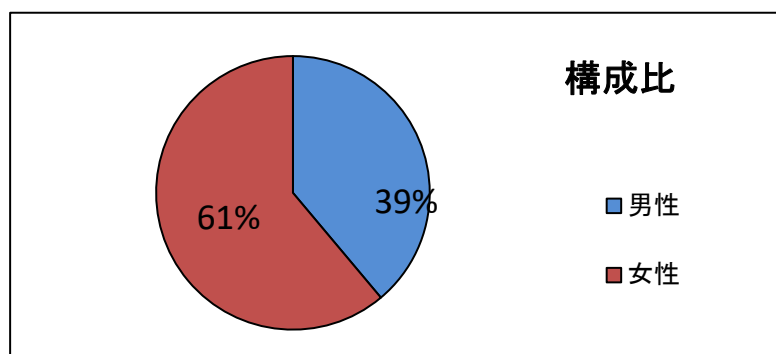
グループホーム鶴翠は、運営責任者1名、管理者1名、計画作成担当者2名(内ケアマネージャー1名)、介護員17名(内技能実習生6名)で構成されております。

管理者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修、介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士、認知症介護初任者研修、ヘルパー2級等、認知症介護に関する専門的な知識と技術を持った職員と看護では、看護師免許を持った職員2名(准看護師2名)を配置し、認知症高齢者へ、専門的なケアと安全な生活が提供できるよう、職員全員が施設運営に取り組んでおります。

また、技能実習生と職員が相互に影響し、互いの意識向上と施設全体のスキルアップへ繋がるように取り組んでおります。

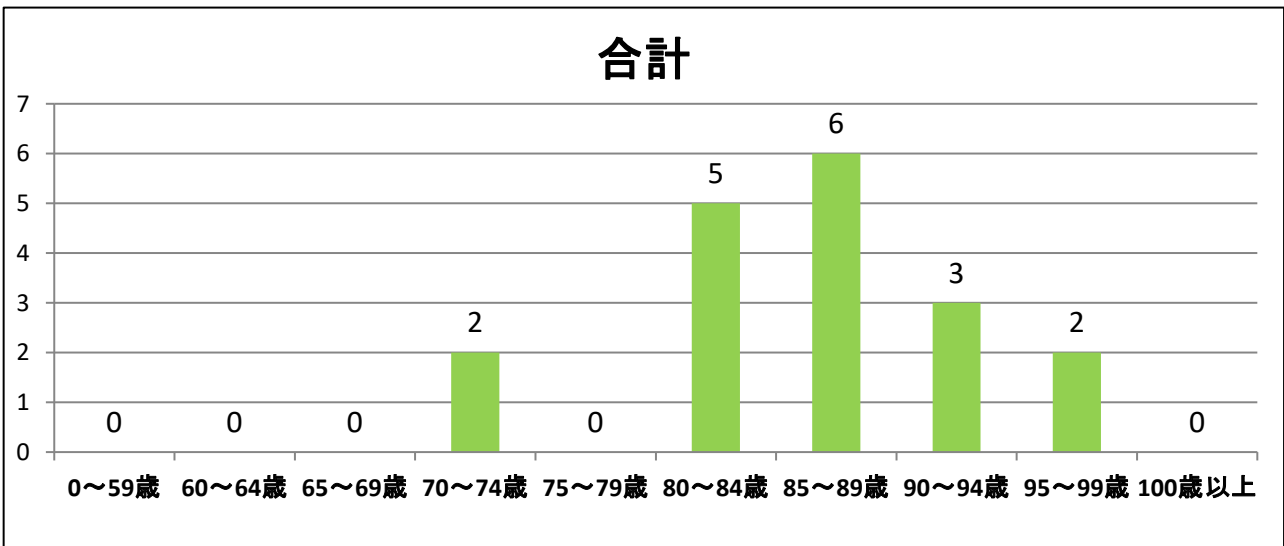
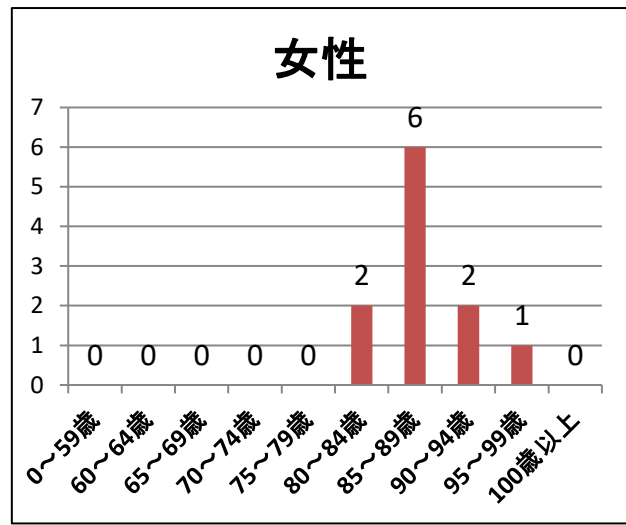
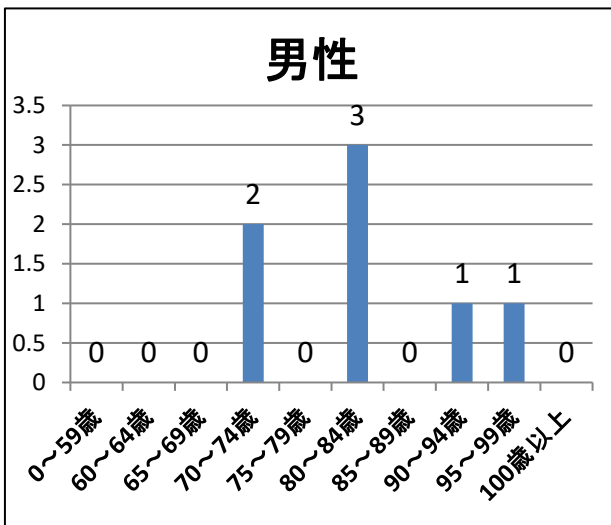
## 2. 定員及び現在人員(令和7年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
18	18	7	11



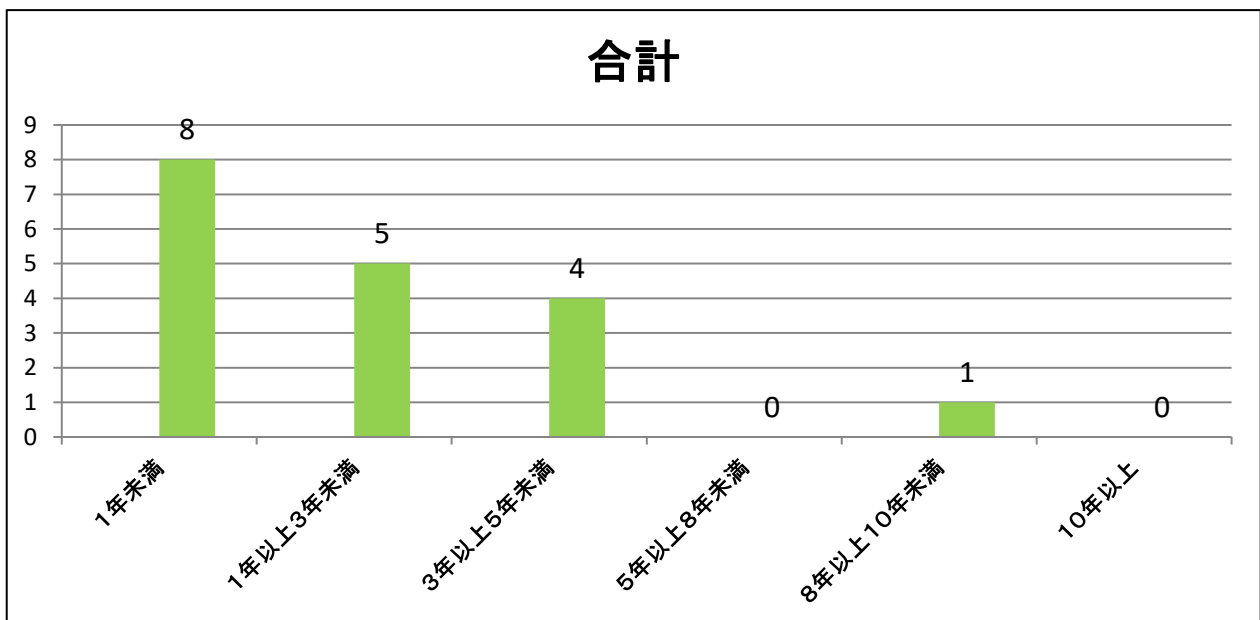
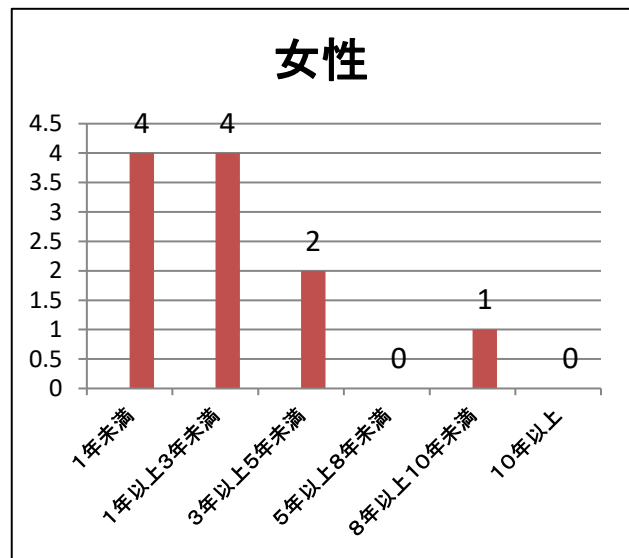
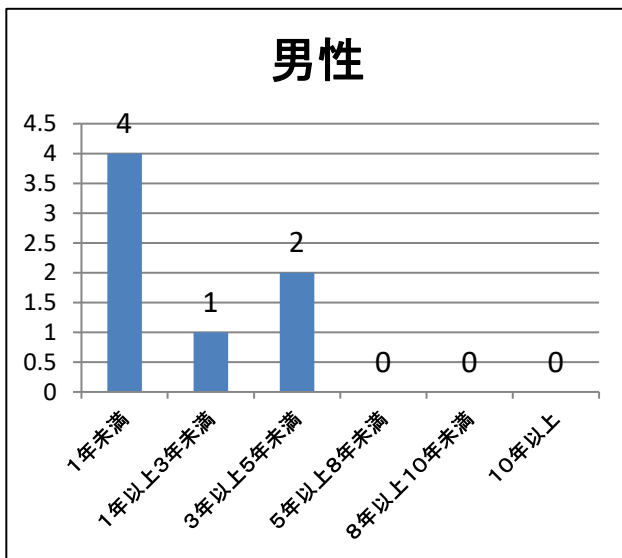
### 3. 年齢別人員

	男性(名)	女性(名)	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	0	0	0	0%
70～74歳	2	0	2	11%
75～79歳	0	0	0	0%
80～84歳	3	2	5	28%
85～89歳	0	6	6	33%
90～94歳	1	2	3	17%
95～99歳	1	1	2	11%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	7	11	18	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	95	73	80	
女性	99	80	87.5	



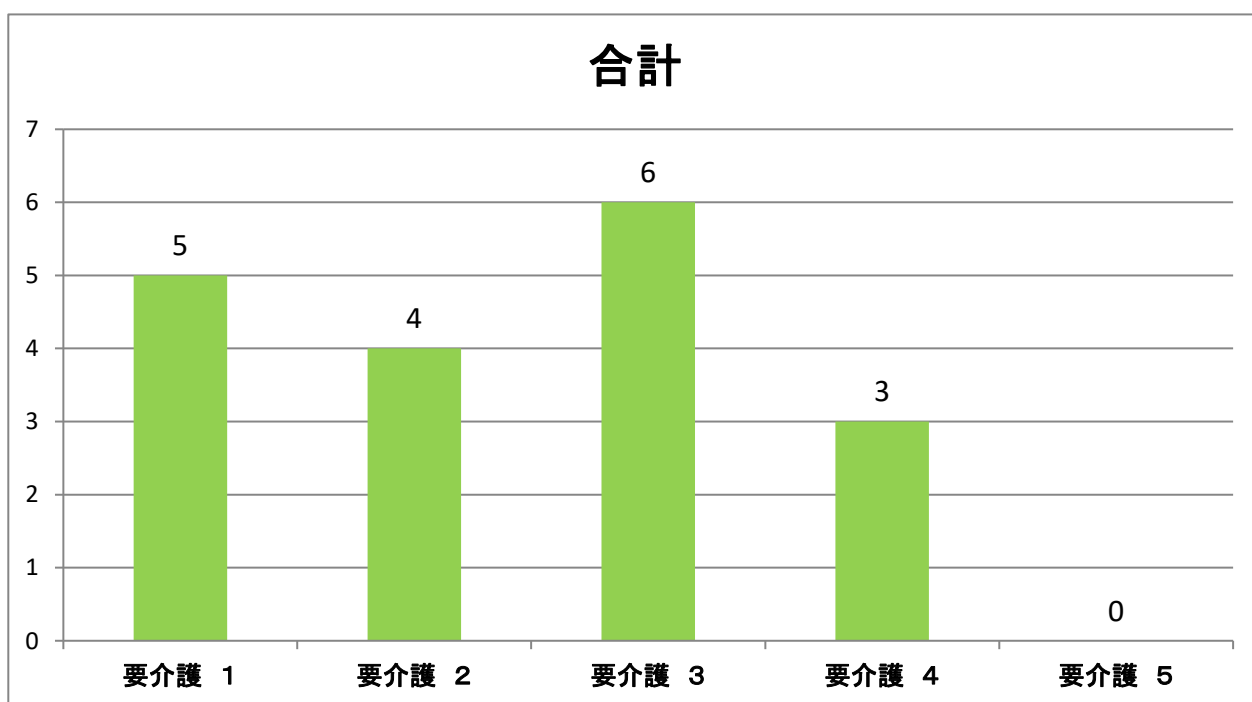
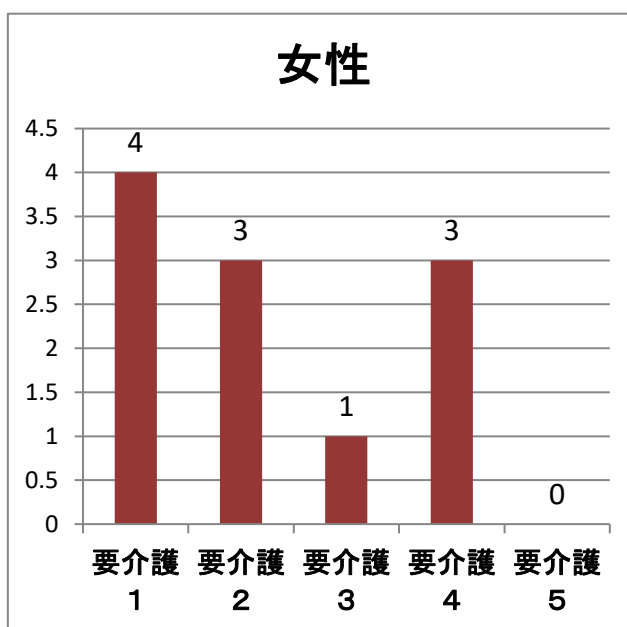
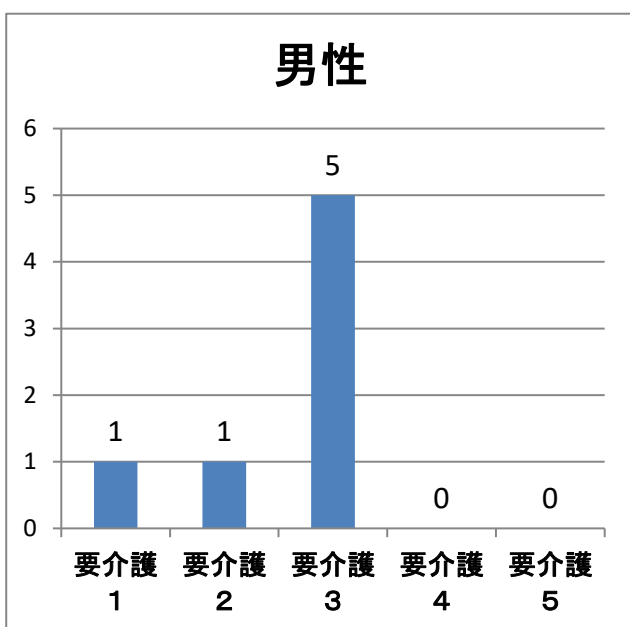
#### 4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	4	8	44%
1年以上3年未満	1	4	5	28%
3年以上5年未満	2	2	4	22%
5年以上8年未満	0	0	0	0%
8年以上10年未満	0	1	1	6%
10年以上	0	0	0	0%
合計	0	0	0	100%
平均入居期間	1年6ヶ月	2年2ヶ月	全体	1年11ヶ月



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	1	4	5	28%
要介護 2	1	3	4	22%
要介護 3	5	1	6	33%
要介護 4	0	3	3	17%
要介護 5	0	0	0	0%
合計	7	11	18	100%
平均介護度	2.6	2.3	全体	2.4



6. 面会状況(令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日迄の1年間)

総数	203人
1か月平均	16.9人/月
最高(1人あたり)	62回/年
最低(1人あたり)	0回/年
年間1人平均	3回
1か月1人平均	3回

7. 研修実施状況

**【内部研修】**

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	①倫理、法令遵守 ②身体拘束について	介護職員	12
5月	感染症・食中毒のまん延防止について	介護職員	11
6月	BCP研修と訓練	介護職員	12
7月	①事故発生、緊急時の対応について ②防犯について	介護職員	11
8月	非常災害時の対応について	介護職員	13
9月	①虐待防止について ②接遇について	介護職員	13
10月	感染症予防と対策について(コロナ、インフル)	介護職員	13
11月	①身体拘束について ②口腔ケアの重要性について	介護職員	14
12月	BCPの研修と訓練について	介護職員	13
1月	①認知症について ②看取りと重度化ケアについて	介護職員	13
2月	高齢者虐待について	介護職員	15
3月	①ハラスメントについて ②プライバシーの保護について	介護職員	13

**【外部研修】**

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
4月	講習	口腔ケア研修	介護職員
6月、8月	講習	介護福祉士実務者研修	介護職員
7月	講習	認知症ケア推進研修	管理者、介護支援専門員
7月	講習	認知症介護基礎研修	技能実習生

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
8月	講習	技能実習相談員研修	介護職員
9月	講習	高齢者虐待防止研修会	介護職員
11月	講習	口腔ケア研修	介護職員
12月	講習	介護リハビリ研修	介護職員
1月	講習	技能実習相談員研修	介護職員
3月	講習	口腔ケア研修	介護職員

8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	介護職員	お花見ドライブ(実報寺公園～久妙寺)	18
	介護職員	誕生会	18
5月	介護職員	端午の節句(集団レクリエーション)	18
	介護職員	中庭でのお茶会	18
6月	介護職員	誕生会	18
	介護職員	あじさい見学ドライブ	18
	介護職員	おやつ作り(フルーツポンチ)	18
7月	介護職員	七夕まつり(笹飾り作成)	18
	介護職員	誕生会	18
	介護職員	夏祭り	18
8月	介護職員	誕生会	18
	介護職員	おやつレク(おはぎ作り)	18
	介護職員	夏遊び	18
9月	介護職員	お月見会&手作りおやつ	18
	介護職員	敬老会	18
10月	介護職員	運動会	18
	介護職員	秋祭り(神輿作成)	18
	介護職員	誕生会	18

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
11月	介護職員	文化祭(紙芝居)	18
	介護職員	誕生会	18
	介護職員	おやつレク(さつま芋餅作り)	18
12月	介護職員	クリスマス会(集団レク、クリスマスケーキ)	18
	介護職員	誕生会	18
	介護職員	おやつレク(ゆきだるまケーキ)	18
1月	介護職員	新年会(書初め、カード遊び)	18
	介護職員	鏡開き(白玉ぜんざい)	18
	介護職員	誕生会	18
2月	介護職員	節分(クイズ大会)	18
	介護職員	誕生会	18
	介護職員	バレンタインデー(チョコバナナ作り)	18
3月	介護職員	雛祭り(集団レクリエーション)	18
	介護職員	ホワイトデー・誕生会(ケーキ)	18

### 【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
		特になし	

### 9. 苦情状況

#### 【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和6年度		なし



